

函南・熱海にまたがる十国峠
「文化財登録1周年を祝う」



▲十国峠の山頂で除幕式を行う森函南町長（左）、若林伊豆箱根鉄道(株)社長（中）、齊藤熱海市長（右）

3月5日、平成27年3月に国の登録記念物として認められた十国峠で、「十国峠文化財登録1周年記念感謝祭」が開催されました。

同感謝祭では、文化庁から授与された記念プレート（熱海・函南広域行政推進協議会により記念碑を作成）の除幕式、熱海高校生徒による沖縄伝統の「エイサー」の披露、伊豆・三津シーパラダイスの移動水族館、酪農王国オラッチェの移動動物園、ご当地グルメ特別販売などが行われ、たくさんの来場者でにぎわいました。また、同日から田方農業高校美術部がデザインしたラッピングケーブルカーのお披露目も行われました。

1年間の学びの成果を披露
「かなみ生涯学習塾 受講生発表会」

3月4日、3月5日の2日間、函南町文化センターで「かなみ生涯学習塾受講生発表会」が行われました。

平成28年度は63教室1,072人の受講生でスタート。講師や受講生の事情などにより3教室141人が減少しましたが、60教室931人の受講生が知識や技術の向上、仲間とのつながりづくりに1年間取り組みました。

当日は36教室の展示・24教室の発表が行われ、学習の成果を存分に披露していただきました。



▲展示発表、ステージ発表が行われました

函南町から2人
自衛隊入隊予定者激励会



▲入隊後の抱負を話す嵩井さん（右）と石井さん（左）

3月8日、函南町役場で自衛隊入隊予定者激励会が行われました。

平成29年度の函南町からの入隊予定者は、嵩井啓斗さん（仁田）、石井久隆さん（仁田）の2人で、激励会には自衛隊、協力会関係者、自衛隊家族会、保護者などが出席し、入隊者の門出を祝いました。

嵩井さんは、「お世話になった人のために立派な自衛官になりたい」。石井さんは、「新しい環境の中、社会に貢献できるように頑張りたい」とそれぞれ入隊後の抱負を話してくれました。

富士山の日になんで
写真展「富士山の四季」を開催



▲富士山の写真に足を止めて見る来館者

静岡県では県民の皆さんが富士山について学び、考え、想いを寄せ、富士山の憲章の理念に基づき、後世に引き継ぐことを期する日として2月23日を「富士山の日」に制定しています。

2月1日～2月27日の期間、かなみ仏の里美術館で富士山の日になんで写真展「富士山の四季」が行われました。

同写真展は文化協会写真連盟の協力により行われ、町内だけでなく町外・県外から見える富士山の写真30作品が飾られ、素晴らしい作品に来館者が足を止めて見入っていました。

春の全国火災予防週間
消防車から「火の用心」

2月26日、春の全国火災予防週間（3月1日～3月7日）を前に町内で火災予防防火パレードが行われました。

パレードには、桑村小学校6年生11人、函南町消防団、田方北消防署が参加しました。

参加した小学生は、消防車に分乗して「消しましょう その火その時 その場所で」などの標語で防火を呼びかけ、町内を消防車で巡回しました。

また、町内のスーパーなどで函南町女性消防団員により、火災予防の啓発を行いました。



▲ヘルメット・法被姿で整列する桑村小学校の6年生

第13回かなみ桜まつり
踊りや飲食店でにぎわう



▲踊りなどの披露で祭りに花を添えました

3月4日、畑毛せせらぎ公園で第13回かなみ桜まつりが開催されました。

かなみ桜まつりには、柿沢川沿いの約3kmに植えられている410本の桜並木やイベントを楽しもうと約2,000人が訪れました。

当日の桜はやや見ごろを過ぎたものの、踊りや和太鼓などの披露、飲食店が出店し、祭りに花を添えました。

かなみの桜（河津桜）は、例年2月下旬～3月上旬が見ごろとなっています。今年見る人ができなかった人は、ぜひ来年行ってみたいはいかがでしょうか。